

希望の鐘

第164号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

実り多い2学期、新年に向け目標設定を

2学期を振り返ってみましょう。まずは生徒主体で運営した体育祭。最初は慣れないためか、スムーズに進みませんでした。最後は見事に成功させることができました。生徒の皆さんの実力が十分に発揮された体育祭でした。秋季大会は夏季大会ほどの成績は残せませんでした。卓球部2名が県大会出場、野球部オースタムカップ優勝、女子バレー部霜月大会第3位と、来年に向け期待のもてる成績を残しています。吹奏楽部のアンサンブルコンテスト金管5重奏金賞県大会出場、木管4重奏金賞、「向日葵」をテーマに全員が何らかの形で関わり、3年生を中心に大きな花を咲かせることができた文化祭。合唱コンクールでは、各学年その発達段階に合った、心を一つにした素晴らしいハーモニーを響かせてくれました。文武両道で活躍した、実り多い2学期だったと実感しています。このような結果を出せたのも、もちろん主役であるあなた方の頑張りによるものですが、一緒になって指導してくれた先生方、時には厳しく叱咤激励し、時には温かく見守ってくださった保護者、地域の方々、コーチの皆さんのおかげでもあるのです。このように何事を成すにも、自分だけの力だけではなく、周りの助けがあるということを肝に銘じ、感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

さて、令和元年も終わりに近づき、新たに令和2年を迎えるにあたり、皆さんに次のことをお願いしたいと思います。

まず1つ目は「スマホ、パソコン等情報機器の使い方を間違えない」ということです。11月、行方不明になっていた大阪の小学6年生の女儿が栃木県小山市で無事保護された事件を知っていますよね。そこには茨城県で6月に行方不明になった15歳の少女もいたということで、大きなニュースとして報道されていました。SNSを介してつながったということですが、一歩間違えばとんでもない事態につながる事件になるところでした。このようなことが起こらないように、毎年情報機器の取扱いに関する講演会を聞くなど、どこの学校でも対策を立て、子供たちに注意を喚起しているのですが、なぜか発生してしまう。「私は大丈夫」と甘く見ているのでしょうか。また、見ず知らずの人を優しい言葉をかけてくるからと言って、なぜ簡単に信用してしまうのでしょうか。自分を取り返しのつかない危険な状況に追い込み、家族を始めとする友人その他周りの多くの人に、多大な心配をかけることに気がつかないのでしょうか。また、「いじめ」の温床にもなりかねません。情報機器の取扱いには十分気をつけてほしいと思います。

2つ目は目標を持つということです。新年を迎えます。気持ちが新たになります。昔から「1年の計は元旦にあり」と言います。

1年生は「去稚心」中堅学年を意識した生活を送ることができる目標を

2年生は、最上級生となる自覚、リーダー意識をもてるように

3年生は、目の前の進路実現と高校進学後の夢と希望を

目標を見つける場合の参考に、次のことを話してみたいと思います。

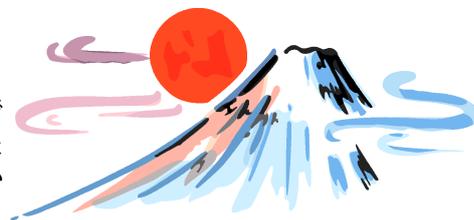
その1：やってよかった、これからも続けていきたいことは何か。

その2：うまくいかなかったこと、改善したいことは何か。

その3：新しくやってみたいことは何か。

こう考えれば、単なる1年の振り返りだけではなく、この次の目標を設定するヒントにつながっていくと思います。それぞれが、新年を迎えた日に、初日（はつひ）に向かって具体的な目標を宣言してほしいものです。

この冬休み、事故非行なく、安心安全に過ごすとともに、規則正しい生活を送ってください。また、すがすがしい気持ちで新年を迎え、そして、決意を新たにして令和2年に臨んでください。3学期始業式、全員元気に、そして大きく成長した姿を見せてほしいものです。では、有意義な21日間を。よいお年をお迎えください。



2学期終業式意見発表

○1年1組 ○○ ○○

2学期を振り返ると、私自身が成長したと感ずることと、頑張ったことが挙げられます。

成長したと感ずるのは、後期室長になった私が、自分優先の考え方からクラスや学年全体のことを考えられるようになったことです。人前で話すことが苦手だった私が、後期室長に立候補したのは、前期室長や学プロの人たちがみんなのために活動しているという点で、素晴らしいと思っただからです。私もみんなのために何かをしたいと思い、意を決して立候補しました。しかし、室長や学プロとしての活動に取り組んではいたものの、ある日先生に注意されてしまいました。そのことで私は深く反省しました。先生の言葉は「みんなのために、自分から働きかける」という私の原点に立ち返らせてくれました。みんなのことを考えるということは自分のことを考えることになります。私は3学期も「みんなのこと」を心に置いた活動に取り組みたいです。

次に頑張ったことは、「勉強と部活動の両立」をすることです。勉強では、こなノートなどで復習することを頑張りました。しかし、内容が難しくなり、授業だけでは覚えることができなくなってきました。ですから、もっと復習をして覚えられるようにしたいし、予習をして授業についていけるようにしたいです。部活動では、声を出すことを頑張りました。しかし、2年生に頼ってしまうことがあるので、全力で声を出していきたいです。大会では、声が出ていなくて、基礎レシーブもできていませんでした。さらに、人任せにしてしまうことがありました。この反省を生かし、これからの練習をチーム全体で頑張りたいです。

3学期は、室長として進んで活動すること、文武両道で規則正しい生活を送ることを頑張っていきたいです。

○2年1組 ○○ ○○○

2学期は、行事のリーダーにたくさん挑戦しました。体育祭でのリーダー決めるとき、周りから投票されしぶしぶやることにしました。最初の学年練習の日は、もう一人のリーダーに任せきりで、何もせずに終わりました。しかし、少しずつ男子をまとめられるようになり、学年種目のブルーシートも、みんなが息を合わせられるようになりました。本番、2組と大接戦になり、最後の最後で逆転して勝てました。みんなで心を一つにすることができてよかったですと感じました。

合唱コンクールの時、思い切ってリーダーになりました。1年生の時は消極的で、人の前に立つのがとても嫌で、言い訳をしては逃げていました。そんな僕が、体育祭でリーダーに選んでもらい、やりがいを感じたので、今度は自分から手を上げました。合唱練習では、1年生の頃とは比べものにならないくらい声が出ました。1年生の頃、誰かがやればいいと人任せにすることが多く、自分からやろうとする意識がありませんでした。でも、僕が少しずつ変わろうとしているように、みんなも変わってきていました。1組は「全員合唱」というテーマで、どんなに下手でも全員の全力の声で歌うという目標を立てました。テノールの音取りが上手くできなかったり、9人しかいない女子の声が響かなかったりして苦労しましたが、一生懸命練習しました。歌い終わった時、僕はとてもいい合唱だったと感じました。

僕は後期から学プロに入りました。2学年をもっと明るく楽しい学年にしたいと考えています。そのために、楽しいことをたくさん企画したいし、毎月の生活目標の取組も、やって行こうと思います。しかし、僕には自分から行動できていないことがあります。だから、まずは自分が変わらなければならないと思います。2月には立志式があり、そこが自分たちを変えるチャンスだと思います。立志式でみんなで成長して、後輩を引っ張っていく学年になりたいです。そして、明るく楽しく、まとまりのある仲間になっていきたいです。

○3年1組 ○○ ○○

2学期は3年生にとって中学校最後の3大行事があり、あっという間に過ぎていきました。私にとって初めてのことばかりで、驚きや感動を感じられる場面がたくさんありました。体育祭では、夏休みから応援合戦のダンスを練習し、1、2年生を引っ張っていくことができました。また、学年種目では負けてしまいましたが、最後まで全員で頑張り、団結力を感ずられました。合唱コンクールでは、最初は声量が小さく本番が不安に感ずりましたが、体を揺らしながら歌ったり、学級のテーマである「笑利覇幸」を入れるなどの工夫をしたりして、緊張をほぐし歌うことができました。文化祭は、前の学校にはなかったため、3大行事の中で最も不安と期待でいっぱいでした。学年展を手伝うことになった私は3大行事の中で最も積極的に行動できたと思います。完成した時の達成感はとても大きかったです。3大行事を通して学級の団結力が高まりました。

勉強面では、得意な教科を多く勉強してきました。しかし、苦手の教科はやる気が出ず、あまり勉強してきませんでした。これから、苦手な教科と得意な教科、どちらも頑張っていきたいです。受験まで3か月を切りました。少しの時間も無駄にはできません。1日1日を大切に、「受験」という意識をしつかり持ち、今できることを精一杯やって行きたいです。受験と同時に中学校生活に終わりがやってきます。進路実現できるように頑張るとともに、残りの中学校生活43日を大切に、たくさんの思い出を作っていきたいです。